

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡 / 湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報

開成惜しくも連覇ならず

地元・山梨学院大附属健闘！

ユノスポ

灘・首位奪還！

第4回東西名門校交流砂金掘り大会



灘 (兵庫県)



最優秀選手賞は開成 岡田友寛君

健闘、海城学園



2回目出場の新出場の海城学園。バンニングの腕は間違って初出場の立教新座に負けた。大会での部門優勝をさげすむ前の明るまで大会を盛り上げた。首位を脅かす脅威となつて来年現れるかもしれない。



熱い夏の戦いであった。東西の名門校6校が集った。砂金を巡ったバトルがこの下部・湯之奥金山博物館で繰り広げられた。試合が進んでいくことに勝負の行方は分からなくなってきた。負けたが、最後は優勝を制した。立教新座は3年ぶりの勝利。残念ながら、さすがに勝利の美には味わえなかったが、

明るいぜ！駿台甲府

初出場。立教新座一般部門優勝の快挙！

この夏も元気に頑張りました!

来館者の皆様、友の会(ボランティア)・職員の皆様に感謝

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷口 一 夫

8月は休館日返上で取り組む

摂氏40度を超える日が列島を駆け巡るなど、今年の夏は特別な酷暑が続きましたが、金山博物館では、年間を通じて来館者が一番多い8月だけに、全ての休館日を返上し、来館者対応に務めました。

特に一般の観覧者、砂金体験の入館者に加えて、未来につながる「夏の暑いイベント」開催が重なる8月で、館は連日賑わいましたが、来館者(参加者)を温かく迎えるために、友の会(ボランティア)の皆様協力や、職員の頑張りがありました。関係した皆様に感謝申し上げます。

有料入館者もハイペースで記録を更新

有料入館者は5月初旬に18万人目を迎えましたが、19万人目の有料入館者も3か月後の8月中旬にお迎えできるなど、ハイペースでの記録更新となりました。通年の有料入館者数も前年度を上回っており、館が熱く燃えると来館者(参加者)にもそのオーラが届き、館は活気を増すように思えます。

イベントは第7回砂金掘り大会、第4回東西南門校交流砂金掘り大会、第7回こども金山探険隊、50回を超えた親子映画観賞会などで、職員がやる気で燃えると、勢い入館者が増える傾向にあります。やはりこの意味では受け入れ側の元気印が大事だと感じます。

有名私学6校が参加した私学砂金掘り大会

有名私学大会も今年は、兵庫・灘中高、東京・開成中高、海城中高、県内の甲府駿台中高、山梨学院中高、そして初参加の埼玉・立教新座中高が加わり計6校となりました。過去優勝校は灘、駿台甲府、開成と続き今年は灘が二度目の栄冠に輝きました。さらに来年は有名校2校が参加を希望しており、このイベントは年々成長しています。

大会後、新宿から二人の中学生が館にやって

きていました。いつものようにエントランスで声をかけましたら、大会に参加した開成中学の生徒が友人を連れてやってきていたもので、感想を聞くと楽しかったので、友達と来ました、と目が輝いていました。

未来につながるイベント

このイベントの目的は、将来に高い可能性をもつ中高生らに、日本の産業遺産でもある金山の正しい歴史を勉強して貰いながら、かつ各校の生徒間の交流が活発になれば、この大会が一つの原点となって、色々な未来が開けるものと確信しています。やがては、未来の来館者につながるイベントとして位置づけています。館職員が汗を流して取り組む理由はここにあります。

金山博物館はオンリーワンの専門館

さて、観光が先行しているかのようにみえる金山博物館ですが、もとより学術的な金山のガイダンス館として、わが国オンリーワンの専門館ですから、その部分の取り組みもしっかり行っています。

先に世界遺産に登録された石見銀山の資料館は登録と同時に来館者が10倍くらい膨れ上がり、質量ともにその対応で館の整備が急務となった模様で、急遽当館の情報収集に関係者が来館しています。これには全面的な協力をしたい考えです。

富士山の世界遺産・周辺エリア入りは重要

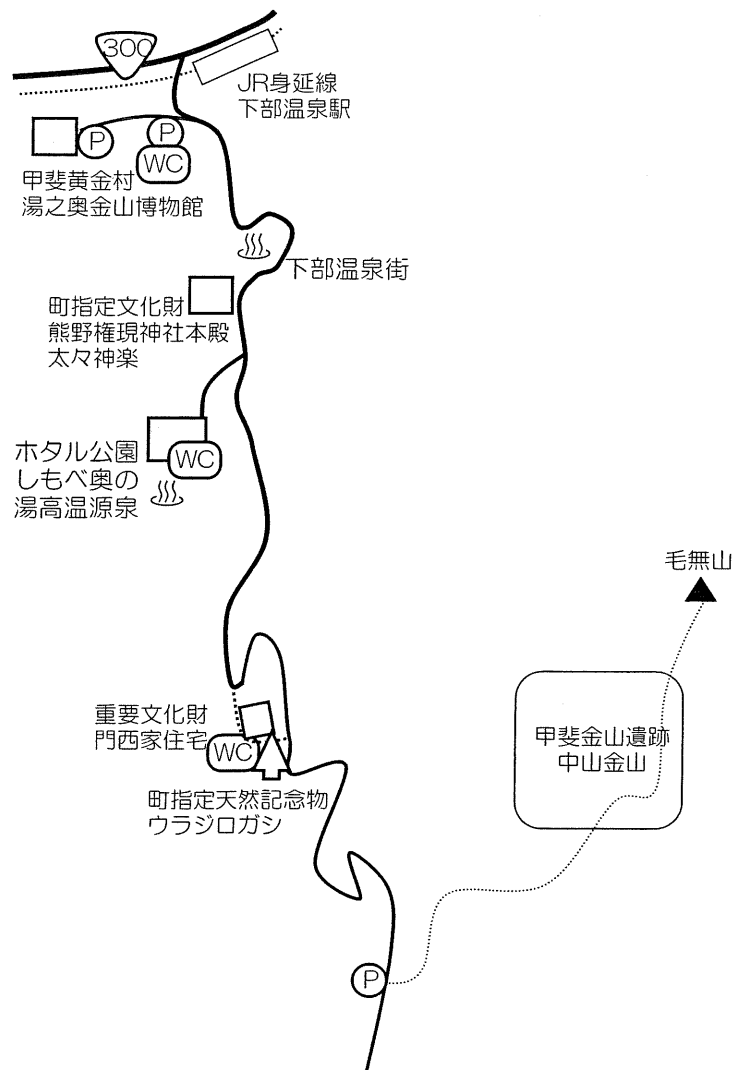
石見銀山の世界遺産登録は、銀山のコアと周辺エリアの指定文化財(天然記念物含む)を総括して、その普遍的な価値をアピールしました。世界遺産暫定登録となった富士山においても、その周辺エリアの指定文化財のあり方は富士山を考える上でその価値を補強します。その意味から富士山の周辺エリアの文化(歴史)遺産である国指定史跡「甲斐金山遺跡」(中山金山)の位置づけは重要です。

図は、湯之奥金山の管理計画にもとづく関連マップですが、中山金山の活用を考えると、富士山の世界遺産登録のエリアに入ることによる観光面での波及効果は、このマップ全域はもとより、町内全域に広がります。本栖湖と中山金山がエリアに入ることが身延町としての課題です。

公開講座は金銀山遺跡の価値を考え総括

また本号で平成19年度の公開講座（第51回～55回）「金・銀鉱山遺跡と黄金文化～黄金の国ジパングの深層を探る③～」の案内をしていますが、石見銀山の世界遺産登録までの道筋を（島根県大田市教育委員会教育部長・大国晴雄氏）、佐渡金銀山遺跡の世界遺産登録への取り

組みを（新潟県教育庁・世界遺産登録推進室の小田由美子氏）、平泉の文化遺産（涌谷の黄金山産金遺跡）について（「平泉の文化遺産」世界遺産登録推薦書作成委員会委員長の工藤雅樹氏）、国指定史跡「甲斐金山遺跡」（黒川金山・中山金山）の今後の取り組みについて（甲斐黄金村・湯之奥金山博物館館長の谷口一夫）、総括を「黄金の国ジパング」の世界遺産登録の可能性として（奈良文化財研究所上席研究員の村上隆氏）による5回を開講します。この講座は、金銀山遺跡の価値を、改めて世界史レベル、国内全域という枠組みの中で再評価することを目指しています。



中山金山周辺文化財マップ（湯之奥中山金山管理計画書から）

国史跡中山金山が世界文化遺産「富士山」のエリアに入ることが出来ると、そのガイダンス館「湯之奥金山博物館」との空間、とりわけ「下部温泉郷」などの活性化に直結します。金山という文化遺産を持つ町を強烈に世に出すチャンスにつながります。

活 動 報 告

夏休み自由研究プロジェクト2007

7月16日(月)

県内の博物館・美術館が一同に集まり、各館の特色を活かしてPRすると共に、夏休み自由研究の課題のヒントを教える「博物館を活用した夏休み自由研究プログラム2007」が、甲府・アイメッセを会場に行われました。このイベントは、山梨県立博物館主催のハブ博物館プログラムとして毎年この時期に行われており、今年で3回目となります。

参加者にはやはり親子連れが多く、それぞれに興味を惹かれる各館ブースに移動し、体験を楽しみながら、自由研究の題材となるかどうかを模索しているようでした。

当館は「出張砂金採り体験」を会場で行いましたが、プレゼンテーション開始と共に、終了時間まで切れることがない長蛇の列が出来ました。採れた砂金の2粒までというささやかで小さな輝きのプレゼントに、子ども達の目は大きく輝いていました。

また、夏休み期間中は、この体験が楽しかったという親子や子ども達が大勢訪れてくれ、出張砂金採りとは様子が異なる、館の大きな水槽での砂金採りを楽しんでいきました。“学習”としても、“遊び”としても魅力的な「砂金採り」のファンをまた増やすことが出来たようです。

インターンシップ職場体験

8月1日(水)～8月5日(日)

毎年この時期には、博物館を職場体験先として選定し、インターンシップ研修生がやってきます。

今年も地元・峡南高校から男子生徒3人、また、2日間という研修期間ではありましたが、同峡南高校の先生が3人、計6人が博物館の職場体験を研修しました。研修期間中は、受付・物販・体験指導と博物館全体の接客業務、そしてイベント準備と様々な仕事に携わりました。

生徒と先生の研修期間が重なった2日間は、ちょうど砂金掘り大会前日ということもあり、会場作りなどで外にいる時間が多く、先生と生徒ならではのやりとりの中で、和気藹々と作業をしていました。

砂金掘り大会当日は「お客様を楽しませるためには自らが楽しさや難しさを知らなければ分

らない」ということで、スタッフとして裏方の仕事をしながら、選手としても参加しました。

研修の中で、博物館の表側の業務、同時進行する裏方の仕事を理解し、お客様に満足していただくために何を心がけるべきかなどを理解してもらえたようです。



会場準備をする研修生。地味な仕事が大きなイベントを支えます。

「みのぶ学」入門講座

8月3日(金)

「自分たちの町の良さや魅力」…それを町外の方々に伝えるためには、町民自らがまず自分の住む町を知り、郷土を愛する心を大切にするという意識の醸成が大事です。現在、これらを育成するための学習会、講演会などが多数実施されています。

“故郷・身延”を語れる人になろう、という機運が高まりつつある中で、町民の自主編成講座あすなる塾では、「みのぶ学入門講座」が開催されました。

町内の文化財や文化施設、歴史の現場を訪れ、

実物に触れ、目にしながら講義を聴き、心で感じ、学ぶという全6回の講義の中で、「金山と穴山氏」というテーマで当館も学習の場を選定されました。

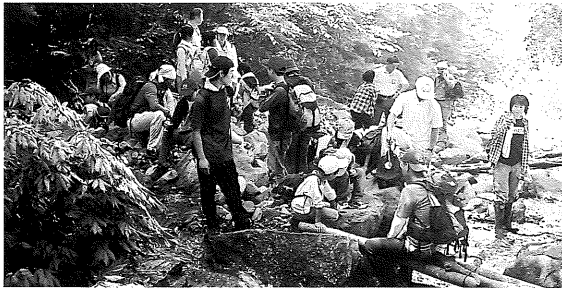
集まった参加者の皆さんは、金山の歴史や鉱山作業を改めて知ると同時に、地域と河内領主・穴山氏との関わりについて学びました。

こうした地元の活動がどんどん広がっていくことは嬉しいことであり、また、館としても積極的に協力していきます。お気軽にお問い合わせください。

第7回こども金山探険隊

8月最後の週末、当館では第7回目となる「こども金山探険隊」が行われました。地元・峡南高校生5名を加えた21名の隊員と保護者で、総勢46名と、今年も多くの皆様にご参加いただきました。

晴天の中の茅小屋金山現地見学では、現地ボランティアとして昭和山岳会メンバー4人と、博物館友の会から1人が加わり、参加者の道中の安全を図って頂きました。



片道約1時間ほどの行程ではあるものの、距離は短くとも結構きつかったという意見が多かった茅小屋金山遺跡への道。しかし現地へ到着すると、テラスや石塔、遺物の状況に参加者からは「大変面白く見学が出来た」という意見や「大変だったけど、かつて繁栄を見せていた金山の姿に思いを巡らせることが出来た」という意見などいろんな感想をいただきました。

現地見学から博物館に戻ると、粉成・灰吹き作業です。あらかじめ焼いた鉾石を砕き、3種類の復元回転臼で鉾石を粉成します。毎年、この鉾石粉から簡単には出てこない金ですが、今回は2人の皿から小さな金の粒が発見されました。

ところで、この粉成作業、実は親御さんが大変。なかなか粉になって出てこないで「お父さん、回して」などと言われればやらないわけにはいきません。「目が回るよ」と言いながらくるくる回した結果、「大変な作業を経て金を

第7回砂金掘り大会

晴天に恵まれたこの日、ジュニア、男女初心者、ベテランの3部門に分かれてエントリーされた“砂金掘り師”たち約110人が集結しました。

いつもどおりジュニア部門から始まった大会本編、1試合(20人/15分)を2セット行う中、横で応援するお母さんの声援を受けて一生懸命パンを揺る子、何度目かの出場で手慣れた雰囲気バケツから砂を移す子、様々でした。

続く男女初心者部門も2セット行い、接戦が繰り広げられましたが、なんとこの部門優勝を

8月25日(土)～26日(日)

採りだしていたんですね」という親御さんたちからの感想も出てきます。

粉成がひと段落したら、今度は待ちに待った灰吹き作業、つまり甲州金作りです。約1.2gの合金粒を灰吹きによって純金にする。金が溶けていく魅惑的な輝きを何度か目にすることがある人は「やっぱりきれいですね」という感想をもらし、初めて見る人にとっては「すごい!」という感嘆の言葉が漏れていました。自分の金粒の輝きに感動しながら最後の刻印打ち。子ども達では少し力が足りないのが、ここもお父さん達の出番です。誰の刻印もなかなか綺麗に打ち込めており、自作の甲州金ケースに入れて仕上がった“オリジナル甲州金”に親子で大満足でした。

修了式では、谷口館長からこども金山衆の免許皆伝の巻物が手渡され、その後、懇親会を兼ねた夕方からのバーベキューも楽しんでいただけたようでした。

中には隊員同士で仲良くなって「来年もここで会う約束をした」という隊員もいました。学習もちろん大事ですが、ただ学ぶだけではなく、イベントがきっかけでお友達が出来たという事も、スタッフとしては大変嬉しい限りです。これを機会に博物館にまた訪れていただきたいものです。



今年も元気な隊員達が集まりました。

8月4日(土)

勝ち取ったのは、砂金採りの経験は、この日に体験用水槽で5分ほど練習をただけという、学校交流大会に出場する学生でした。「砂金掘り自体を初体験の人が優勝を勝ち取るとは」と、この結果には本部も驚きでした。

一般大会のトリを飾るベテラン部門の参加人数は17人。全員が3分台のタイムで終わっているところは、さすがでしたが、“逆パーフェクト”という意外な展開があったのもベテラン部門でした。

今回は全部門とも全て砂金は10粒混入されており、その中でパーフェクトは初心者部門とベテラン部門から1人ずつ、うちタイムが早かったベテラン部門参加の高岡伸五さん（富士市）が総合優勝となりました。惜しくも入賞を逃したという方も是非、来年の大会に向けて、日々精進をし来年の優勝を狙ってください。



男女ベテラン部門

ジュニア部門

男女初心者部門

ジュニアの部 (10粒)															
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	諏訪 敬之	9	7.0381	11	吉田 一真	3	4.2976	21	佐野 国正	4	14.5901	31	小尾 りょう	1	11.0601
2	清水 貴弘	9	7.4398	12	赤池 拓海	5	14.5005	22	伊藤 岳斗	2	5.0611	32	山形 史郎	1	11.2262
3	大堀 大	8	6.4673	13	回木 祐登	3	6.2267	23	古屋 伸	3	10.5966	33	佐野 峻也	1	14.0437
4	大瀬 陽介	8	6.5119	14	佐藤 皓一	3	6.2328	24	松原 聖	2	6.0889	34	浅利 よしき	1	14.1978
5	坂上 拓	7	7.0278	15	森川 涼介	3	6.2621	25	永関 梨子	3	11.2706	35	堀内 沙希	1	14.5034
6	石井 彰吾	7	10.0124	16	柴山 雄太	4	12.0227	26	米山 兼治	3	13.5562	36	武藤 航輝	1	15.0001
7	石部 快人	6	13.3201	17	高橋 弥楊	3	7.025	27	川手 遼一	2	12.0878	37	長屋 だいき	0	14.1641
8	石部 雄太	5	10.4701	18	久原 雅史	4	13.0112	28	副島 七海	2	12.1483	38	小沢 尊史	0	14.4191
9	内田 唯	5	12.4198	19	土屋 祐貴	3	8.2937	29	齋藤 悠	2	14.1374				
10	長田 翔太	5	12.4397	20	依田 遼真	3	9.3627	30	飯島 隆一	1	10.3261				

初心者の部 (10粒)															
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	倉田 侑樹	10	11.5703	12	川田 敏文	8	12.3503	23	太田 克己	6	9.2179	34	向山 秀樹	3	3.2849
2	柴田 知美	9	7.2065	13	寺嶋 浩二	7	7.4881	24	一瀬 けい子	6	12.3961	35	板山 武久	5	14.2014
3	柴田 龍弘	9	7.4821	14	川田 留子	8	13.3301	25	伊代 裕介	5	7.3987	36	旗持 天	5	14.5001
4	原口 英樹	8	5.1369	15	筒井 はるな	8	14.1409	26	熊谷 雄一郎	4	2.5901	37	渡辺 清人	4	10.1256
5	渡辺 正樹	9	10.4479	16	伊藤 正樹	8	14.1589	27	和田 拓也	4	3.5189	38	小川 航	4	13.1925
6	関谷 友宏	8	5.5032	17	大沢 篤史	8	14.2387	28	武藤 明雄	6	14.3001	39	宮下 一航	3	14.3991
7	間下 大樹志	9	14.1879	18	幡野 恭平	7	9.5025	29	成島 秀樹	5	9.452	40	今村 一弥	2	10.5024
8	柏木 浩	9	14.2301	19	武藤 清江	8	14.5255	30	柴田 幸弘	4	5.3071	41	雨宮 正洋	1	7.4698
9	鈴木 智草	9	14.5767	20	古田 豊	8	14.5344	31	一瀬 仁	4	5.3087	42	朱 雷	2	14.5276
10	樋口 詩織	7	5.4412	21	柴田 明美	6	6.1874	32	前山 亮平	5	11.4304	43	長関 ひさの	0	13.1052
11	小岩 博継	8	10.5137	22	野澤 岳人	6	9.1135	33	依田 淳	5	12.1559	44	中村 彩乃	0	15.0001

ベテランの部 (10粒)															
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	高岡 伸五	10	4.581	6	高田 克彦	8	5.1988	11	広瀬 義朗	6	2.3838	16	青柳	3	14.5941
2	井村 智子	9	4.3215	7	原澤 英美	7	2.5812	12	岩井 務	5	6.1503	17	中川 清	0	3.0141
3	川原 敏夫	9	6.5968	8	近藤 直美	7	3.3549	13	天野 真澄	5	8.0261				
4	保坂 信一	8	3.1775	9	野村 敏郎	7	4.0416	14	原口 静香	4	4.5283				
5	林 謙治	9	8.4401	10	大森 直之	7	4.2822	15	本間 純	2	3.5816				

第4回東西名門校交流砂金掘り大会

8月4日(土)

一般大会に続き、午後2時から、今年で4回目となる「東西名門校交流砂金掘り大会」が開催されました。今年は、去年の5校にさらに1校が加わって、灘（兵庫）・開成（東京）・山梨学院大附属（山梨）・駿台甲府（山梨）・海城（東京）・立教新座（埼玉）の6校での戦いとなりました。

ルールは昨年と同様でしたが、制限時間30分間以内に5個のバケツの砂（1バケツ5kg）を5人でパンニングし、中に混入されている20粒



の砂金を見つけ出す団体戦を先に行ったことが昨年度までの変更点でした。

リレー方式で行う団体戦は、個人の腕だけではなく、仲間同士でどれだけ協力でき、うまく次につなげるかが大きな鍵となってきます。初めのうちは、どの学校も同じくらいのペースで進んでいましたが、2人目、3人目となって来ると各校に差が見られ始めました。そして、一番苦しいのがアンカーを務める選手となります。仲間の声援を受け、各校とも制限時間内にすべて終了することができました。その団体戦を見事に制したのが、20粒中14粒を探し、なおかつ30分を1分以上残して終了した灘で、30点を得ました。

次が粒数は同じ14粒だったもののタイムが及ばなかった地元の駿台甲府25点、さらに山梨学院20点、開成15点、海城10点、立教新座5点と続き、1分以上残して終わった、灘・山梨学院・

海城にはボーナス点0.5点が加算されました。

続いて、先鋒・次鋒・中堅・副将・大将の順に各校5人をそろえての個人戦となりました。個人戦は6kgの砂を制限時間8分以内にパンニングするというもので、砂金が何粒混入されているのかは選手たちは分かりません。この個人戦で好タイムを出せば、逆転はまだ可能。各校とも選手を囲み、大きな声援を送っていました。1つの試合が終わるごとに得点表に結果を書き出していきました。初出場ながら、一般大会では部門優勝者を輩出するという快挙を成し遂げた立教新座もなかなかの健闘ぶりでした。結果、個人戦も1点差の44点で灘が1番でした。次が43点で山梨学院、41点で開成、36点海城、32点立教新座、29点駿台甲府と続きました。

団体戦・個人戦の総合得点の結果、本大会1回目から参加している灘が王者奪回を果たしました。続いて、地元の山梨学院大附属、昨年優勝の開成、駿台甲府、海城、立教新座という順位となりました。



優勝・灘

準優勝・山梨学院

そして最優秀選手賞は、3人いたパーフェクト者の中で一番タイムの早かった、開成学園の岡田友寛君に贈られました。惜しくも最優秀選手賞に届かなかった灘の諏訪敬之君、開成の山口望君の2人にはパーフェクト特別賞が贈られました。

選手の皆さんは朝早かったせいもあり、少し疲れた様子でしたが、日に焼けた笑顔を浮かべながら帰っていきました。

毎年、レベルが上がっている本大会ですが、来年もさらに盛り上がり、熱い大会になることを期待します。



強かった 開成

健闘 海城学園

明るい 駿台甲府

初出場 立教新座

団体戦	1	2	3	4	5	採取金粒 合計	獲得点	BP(0.5P)	合計得点
灘	石井彰吾	阪上拓	森川涼介	和田拓也	諏訪敬之	14粒 28.10.84	30点	0.5点	30.5点
開成学園	堀越瞬	青木智	茂木優樹	石田堯	安永竣	13粒 29.40.38	15点		15点
駿台甲府	石部快人	内田唯	旗持天	間下大樹志	筒井はるな	14粒 29.17.23	25点		25点
山梨学院	樋口詩織	大瀬陽介	回木祐登	高橋弥楊	土屋祐貴	13粒 28.35.69	20点	0.5点	20.5点
海城学園	野口直寛	遊座二郎	宇野真矢	角谷泰輔	林峻	8粒 28.50.95	10点	0.5点	10.5点
立教新座	古田豊	小川航	前山亮介	太田克己	倉田侑樹	8粒 29.14.18	5点		5点

個人戦	先鋒(7粒)		次鋒(5粒)		中堅(6粒)		副将(5粒)		大将(9粒)		合計得点
灘	吉田一真	11.02.21	諏訪敬之	7.27.35	関谷友宏	11.16.88	松原聖	26.39.65	田代裕介	17.26.78	44点
獲得点数	9点	6粒	10点	5粒	9点	5粒	6点	1粒	10点	7粒	
開成学園	大嶋幸太郎	17.56.25	笠浦一海	17.57.56	山口望	7.13.07	岡田友寛	6.10.16	新井大樹	29.34.12	41点
獲得点数	7点	5粒	7点	3粒	10点	6粒	10点	5粒	7点	4粒	
駿台甲府	関永梨子	27.17.65	瀬戸悠	22.49.33	永関久乃	22.12.18	山縣史朗	32.49.84	米山兼治	45.56.98	29点
獲得点数	5点	3粒	6点	2粒	7点	3粒	5点	0粒	6点	1粒	
山梨学院	久原雅史	10.41.44	佐藤皓一	15.42.88	渡辺正樹	14.52.97	長田翔太	22.26.47	清水貴弘	19.10.34	43点
獲得点数	10点	6粒	9点	3粒	8点	4粒	7点	2粒	9点	6粒	
海城学園	辰己タケオ	17.34.38	高橋ケンスケ	32.56.96	大野志明	27.49.22	野口直寛	12.26.77	小田切英一	27.29.34	36点
獲得点数	8点	5粒	5点	0粒	6点	2粒	9点	4粒	8点	5粒	
立教新座	吉田豊	17.58.92	小川航	17.53.41	前山亮平	27.59.36	太田克己	16.16.44	倉田侑樹	52.57.09	32点
獲得点数	6点	5粒	8点	3粒	5点	2粒	8点	3粒	5点	0粒	

学校名	団体戦点	個人戦点	ボーナス点	最終得点	順位
灘	30点	44点	0.5点	74.5点	1位
開成学園	15点	41点		56点	3位
駿台甲府	25点	29点		54点	4位
山梨学院	20点	43点	0.5点	63.5点	2位
海城学園	10点	36点	0.5点	46.5点	5位
立教新座	5点	32点		37点	6位

個人戦は6kg制限時間8分間、1位10点、2位9点、3位8点、4位7点、5位6点、6位が5点を獲得できる。
団体戦は5kg制限時間30分間内で5人一組のルー方式で、どのバケツにいくつ砂金が入っているか分からないが、チーム全体で20粒の砂金が入っている。団体戦では1位が30点、2位25点、3位20点、4位15点、5位10点、6位5点を獲得し、残り時間1分につき、0.5点のBPを加算したものが取得点数となる。個人戦、団体戦で獲得した総取得点数で順位を決定する。なお、同点だった場合の、判断基準はスピード、採取粒の順とする。

有料入館者19万人目達成/博物館ホームページアクセスも20万人突破! 8月入館者数は過去最高の4,600人!

当館は、平成9年の開館以来“敷居の低い誰もが訪れやすい博物館”というスタンスを変える事なく、学術・観光両面において、様々な事業を展開しお客様に接しています。

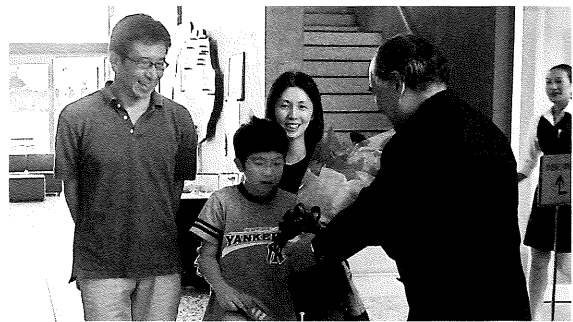
今年度の目標の一つでもある「昨年度の入館者数を更新すること」は、現時点では開館以来最高のペースで多くの来館者をお迎えしております。

また、この8月は休館日無しでの開館対応に、開館以来最高人数の4,600人を超えるお客様をお迎えし、去る8月24日(金)には、19万人目の有料入館者をお迎えいたしました。

今回の幸運な入館者は、東京都にお住まいの横瀬雄太郎君(小学5年生)とそのご両親。砂金採り体験をしたくて身延を訪れ、「番付表」の名前を格上げさせたいという雄太郎君だけの願いから、再来館してくれたことによる幸運で、ご家族で「こんな事はそうあるものじゃないですね。本当に嬉しいです。」と大喜びしてくれました。

また、博物館ホームページも多くの方のご利用をいただき20万アクセスを突破いたしました。20万人目のカウンターを踏んだのは、渡辺清人君(静岡県)で「いつも見えています。」とご連絡をいただき、清人君にはささやかな記念品を贈呈いたしました。

前回の記念入館からわずか112日で1万人のお客様をお迎え出来たこと、そしてそれだけの人が当館を選んで訪れてくれたことに感謝すると共に、スタッフ一同、さらにご満足いただける施設作りを目指して参ります。



花束に驚く雄太郎君とご両親

博物館日誌 (平成19年6月～9月)

- | | | | | |
|---|--|--|--|--|
| <p>9月
2日(日) 防災訓練
6日(木) 麓金山現場下見打合せ
8日(土) NHK甲府撮影打合せ
13日(木) 館だより42号発刊</p> | <p>28日(火) 大宮市郷土史研究会研修
26日(日) こども金山探検隊フリープログラム2日目
25日(土) 第7回こども金山探検隊1日目、山梨日日新聞取材
24日(金) 有料入館者19万人目達成
23日(木) 甲府CATV番組撮影
22日(水) 茅小屋金山登山道整備、夏休み映画会「バーマン」「フラガール」
21日(火) RKB毎日放送ラジオPR出演
13日(日) 海老名市ボイスカウト
12日(日) 考古学講座(考古博物館主催)
9日(木) フリーペーパー情報誌『チユスマ』取材・撮影
8日(水) 峡南地域教職員研修(講師・堀内 亨氏)
6日(月) 早稲田実業付属中課外授業
5日(日) やまめ祭り(於博物館駐車場)
4日(土) 放送取材
第7回砂金掘り大会・第4回東西名門校交流砂金掘り大会、山梨(～4日迄)</p> | <p>8月
1日(水) 生涯学習事業「みのぶ学」講座、峡南高校教員インターンシップ(～5日迄)
30日(月) 臨時開館(～8月中無休開館)、峡南高校インターンシップ(～5日迄)
29日(日) 身延山ロープウェイ打合せ
28日(土) 身延山ロープウェイ打合せ
26日(木) 山梨教職員研修
22日(日) 富士川流域王国会議
20日(金) FM甲府PR出演
16日(月) 夏休み自由研究プロジェクト(於甲府アイメッセ)
10日(水) 下部中職場体験学習(～12日迄)
7日(日) 七夕・身延山ロープウェイ打合せ
6日(土) 課外授業予定地整備
5日(金) 中富中「課外授業」
3日(水) 社会教育委員会・生涯学習フェスティバル打合せ</p> | <p>7月
3日(火) 社会教育委員会・生涯学習フェスティバル打合せ
5日(木) 中富中「課外授業」
6日(金) 課外授業予定地整備
7日(土) 七夕・身延山ロープウェイ打合せ
10日(火) 下部中職場体験学習(～12日迄)
16日(月) 夏休み自由研究プロジェクト(於甲府アイメッセ)
20日(金) FM甲府PR出演
22日(日) 富士川流域王国会議
26日(木) 山梨教職員研修
28日(土) 文教大学付属中学校課外授業、読売新聞取材
29日(日) 参議院議員通常選挙
30日(月) 身延山ロープウェイ打合せ</p> | <p>6月
22日(金) 大河内小「課外授業」、自然愛好部映画観賞会「皇帝ペンギン」
26日(火) 甲府CATV中山金山現地取材撮影
30日(土) 茅小屋金山登山道整備、都留文科大学課外授業、親子映画観賞会「つる星やつら完結編」</p> |
|---|--|--|--|--|

館からのお知らせ①

湯之奥金山博物館 第1回日曜コンサート

オータムコンサートinしもべ&花火大会

日時：2007年9月16日(日・祝) 午後3時30分開演(～5時30分迄)

場所：甲斐黄金村・湯之奥金山博物館イベント広場(博物館専用駐車場)

※鑑賞無料(飛び入り演奏者歓迎、希望者は12時30分迄に集合してください。)

花火大会：演奏終了後 午後6時30分～

このイベントは湯之奥金山博物館初の試み、プロの奏者も交じっての本格的な吹奏楽コンサートです。初秋のしもべで、屋外での開放的な空間の中、格調高いプラスコンサートを共に楽しみましょう。コンサート後は花火大会もございますので、どなた様もお気軽にお出かけください。

PART1 ソロとアンサンブルの楽しみ(曲目)

- | | | |
|--------------|-----------------------|---|
| ♪ 信玄そして下部 …… | ○ 風林火山 | |
| ♪ 秋の調べ …… | ○ 赤とんぼ(フルート演奏) | ～ 出演者～ |
| | ○ 小さい秋みつけた(クラリネット演奏) | ○ フルード/大内雅美(ソリスト) |
| | ○ 里の秋(チューバ演奏) | ○ クラリネット/加藤 昇(ソリスト・元群馬交響楽団員)/田中 旭(元玉川大教授) |
| | ○ 紅葉(アンサンブル) | ○ ホルン/網野公一(玉川大教授) |
| ♪ 秋のジャズ …… | ○ イパネマの娘(フルート演奏) | ○ テューバ/戸坂恭毅(ソリスト、東京フィルハーモニー交響楽団団友) |
| | ○ オール・オブ・ミー(クラリネット演奏) | ○ 打楽器/岡 昭男(群馬交響楽団) |
| | ○ ピンクパンサー(チューバ独奏) | ○ ピアノ/今村仁美(上野学園生) |
| ♪ ちびっこも一緒に… | ○ トロ・ファンタジー(アンサンブル) | |
| ♪ 日本人の心 …… | ○ 千の風になって(アンサンブル) | |
| | ○ 八木節(アンサンブル) | |
| | ○ ふるさと(アンサンブル) | |

親子映画観賞会のお知らせ

期日：平成19年11月3日(土) 午後6時～、場所：湯之奥金山博物館映像シアター

※上映作品は、ホームページ、町内チラシにて周知いたします。※観賞無料

平成19年度公開講座「金・銀鉱山遺跡と黄金文化」ご案内

平成19年度公開講座のテーマ及び日程が、次のように決定いたしました。10月から翌年2月までの全5回。各回とも午後2時から午後4時まで(質疑応答を含む)、博物館多目的ホールにて開催いたします。各分野の最前線で活躍されている先生方を講師陣にお招きしてのこの公開講座。今年も多くの皆様のご聴講をお待ちしております。

通算回	期 日	演 題	講 師
第51回	10月20日(土)	世界遺産「石見銀山遺跡」 ～その歴史と登録までの道筋～	島根県大田市教育委員会教育部 部長 大 国 晴 雄
第52回	11月10日(土)	国指定史跡「佐渡金銀山遺跡」の 歴史と登録への取り組み	新潟県教育庁文化行政課副参事・ 世界遺産登録推進室 小 田 由 美 子
第53回	12月8日(土)	「平泉の文化遺産」と涌谷の国指定史跡 「黄金山産金遺跡」	平泉の文化遺産・世界遺産登録推薦 書作成委員会 委員長 工 藤 雅 樹
第54回	平成20年 1月19日(土)	国指定史跡「甲斐金山」(黒川金山・ 中山金山)の歴史と今後の取り組み	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷 口 一 夫
第55回	2月9日(土)	「黄金の国ジパング」の 世界遺産登録の可能性 ～日本金銀鉱山遺跡の現状を総括～	独立行政法人奈良文化財研究所 上席研究員 村 上 隆

館からのお知らせ②

秋の遺跡見学会 参加者募集

湯之奥金山博物館では、武田領内で操業された県内外の金山遺跡を訪れ学習する「遺跡見学会」を開催しております。今年度は「駿河領内の金山」にテーマを絞り、10月に「富士・麓金山」、11月に「安部・梅ヶ島金山」の現地見学会を開催いたします。鉱山史や金山に対する理解を益々深めるとともに歴史に触れ、郷土に残る貴重な歴史遺産を自分の目と足で確かめてみませんか。お申し込みお問い合わせは当館まで。なお、各見学会とも、定員になり次第締め切りとさせていただきますので、ご了承ください。※お申し込みいただいた方には、詳細の日程等を後日お送りさせていただきます。

*富士・麓金山遺跡見学会 【難易度：上級者コース】

期 日：平成19年10月21日(日) ※予備日10月28日(日)
定 員：15人 (申込期間：平成19年10月19日(金)まで)
講師・案内：竹川将樹氏

*安部・梅ヶ島金山遺跡見学会

※予定。見学地が変更になる可能性があります。ご了承ください。【難易度：初～中級者コース】

期 日：平成19年11月17日(土) ※予備日11月18日(日)
定 員：15人 (申込期間：平成19年11月15日(木)まで)

※両見学会とも参加費は無料となります。(ただし、温泉入浴代は自己負担)、また、博物館からは「ふるさと号」(バス)に乗っての移動となります。

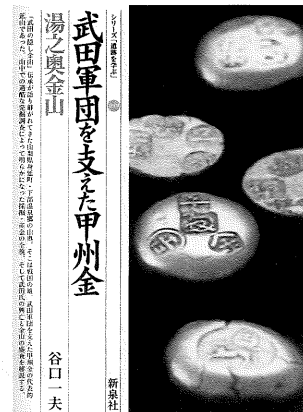
書籍刊行のお知らせ

このほど、シリーズ“遺跡を学ぶ(新泉社刊)”の中の1冊として、当館の谷口一夫館長が執筆いたしました『武田軍団を支えた甲州金 湯之奥金山』と題した書籍が刊行・発売となりました。

湯之奥金山発掘調査に至った経緯や、出土資料からのさらなる考察、今後の金山研究の展望についてなど、調査当時から調査団長として、そして当館館長として湯之奥金山に最も深く関わってきた本人だからこそ伝えられる内容がこの1冊に凝縮されています。

当館でも販売開始いたしておりますので、この機会にぜひお求めください。

なお、当館でのご購入特典として、館長の直筆サイン入り書籍をお求めいただける他、当館オリジナル鉛筆と絵ハガキをもれなくプレゼントいたします。【全カラー・A5版/96ページ/定価1,575円(税込)】



通信販売を希望される皆様へ：

通信販売をご希望される方は、1,575円+送料210円=1,785円を現金が為替にて当館までお送りください。代金到着を確認し次第、速やかに発送いたします。2冊以上の場合は送料が異なりますので、お手数ですが、当館までお問い合わせください。

編集後記

記録的に猛暑日が続いた夏もようやく終わり、博物館の駐車場を吹き抜ける風が心地よくなりました。

秋がいよいよ深まる中、遺跡見学会や公開

講座が始まります。

気候も良くて食べ物も美味しい、そんな絶好の季節に知的好奇心を満たすべく、本栖湖からの国道300号線の「甲州いろは坂」を通過して紅葉を楽しみながら博物館においでください。

博物館だより 第42号 平成19年9月13日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

博物館HPアドレス http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html 博物館Eメールアドレス yunking@town.minobu.lg.jp